

こくぶんじ あわじこくぶんじとうあと  
**国分寺（淡路国分寺塔跡）**

所在地：南あわじ市 八木



国分寺跡 出典：財団法人淡路島くにうみ協会HP

国分寺は、聖武天皇が仏教の力によって国を治めるため、天平 9 年（737 年）に国ごとにその建立を命じたことに始まります。

主な伽藍として、南大門・金堂・七重塔・講堂・鐘楼・僧房などがあったと伝えられていますが、現在も塔跡の中心礎石が残っています。中心礎石は、直径 136cm の自然石に直径約 75cm の円柱座が彫られています。中心礎石のほかに、礎石は 5 個ありますが、いずれも元あった位置からは移動しています。

国分寺塔跡は、昭和 26 年に国指定重要文化財に指定されています。

- 【景観の特徴】
- 自然が作りだす景観
  - ✓ 歴史が作りだす景観
  - 生活・文化が作りだす景観
  - 新しく作りだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道西淡三原 IC 下車、県道 31 号線、県道 477 号線、県道 478 号線へ。車で約 15 分。



地図出典：国土地理院発行 2万5千分の1地形図